

「平成 28 年度共同利用・共同研究拠点シンポジウム」を開催

2017 年 2 月 14 日～15 日

今年度はこれまでにない試みとして国内の共同研究採択者全員（採択総数 53 件）に口頭またはポスターにより成果発表をしていただく『共同利用・共同研究拠点シンポジウム』を企画し、金沢東急ホテルにて開催しました。

北は北海道大学から、南は熊本大学まで、全国から大勢のがん研究者が一同に集うことで研究者間での新たな連携と融合が開始され、金沢を拠点（ハブ）としたがん研究者ネットワークがさらに広がることを予感させる絶好の機会となりました。

シンポジウムでは「がん、生命科学、個性、多様性」をテーマに、採択された 53 課題の中から 10 名の研究代表者と本研究所教員 4 名が研究成果を発表し活発な討論が繰り広げられました。また、参加いただいた多くの共同研究者が成果発表したポスターセッションは大変活気があり、ポスターを前に各所で質疑応答や意見交換が盛んに行われていました。さらに特別講演として大阪大学免疫学フロンティア研究センターの坂口 志文先生には、免疫学の進歩による画期的ながん治療法の開発など最新の知見をご講演いただきました。最後に本共同研究拠点を学外より支えてくださる共同研究運営委員、共同研究専門委員の先生方から今後のがん研究の進展と方向性について大変有意義な講評をしていただきました。シンポジウムには、2 日間で延べ 321 名（1 日目 221 名、2 日目 100 名）もの多くの方々にご参加いただき、大変盛況なシンポジウムとなりました。

ここに、ご参加いただきましたすべての皆様に心より感謝いたします。

【シンポジウム 1 日目】 平成 29 年 2 月 14 日（火）

【学長挨拶】



金沢大学 山崎 光悦 学長

【特別講演】

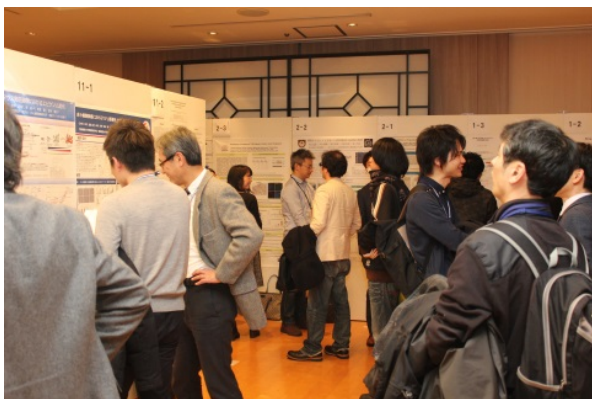


大阪大学免疫学フロンティア研究センター 坂口 志文 先生



集合写真

【ポスターセッション】



【シンポジウム2日目】 平成29年2月15日（水）



大島 正伸所長による拠点活動報告



国立がん研究センター研究所 大木 理恵子 先生



理化学研究所ライフサイエンス 清末 優子 先生
技術基盤研究センター



本研究所腫瘍動態制御研究分野 酒井 克也 先生

【理事挨拶】



金沢大学 向 智里 理事

